

平和大通りの利活用のための整備イメージ(案)について

第1回及び第2回ワークショップの取りまとめを踏まえた整備イメージ(案)は次のとおりである。

1 平和大通りの目指す姿(基本計画より)

～鎮魂、憩い、にぎわい、おもてなしが調和し、都心の回遊を促す平和のシンボルロード～

- 鎮魂、憩い、にぎわい、おもてなしの調和を図りつつ、多くの人が訪れてみたい、また訪れたいと感じられる「平和のシンボルロード」にしていく。
- 市民はもとより観光客等が、徒歩や自転車等により、平和記念公園、比治山公園、中央公園などの地域資源を巡り、広島の「今」を感じることができるよう、都心回遊の重要な拠点にしていく。

2 平和大通りの利活用のための整備の方向性

平和大通りの目指す姿の実現に向けて、鎮魂、憩い、にぎわい、おもてなしの四つの要素の調和を図りつつ、平和大通りが都心回遊の拠点となるよう、次の六つの方向性の下に、魅力や価値を高める整備を行う。

鎮魂

① 平和記念公園や比治山公園とのつながりを考慮しながら、平和や芸術を発信できる通りとする

- 多くの人々が被爆の実相に触れ、平和への思いを共有できるよう、慰霊碑等の周辺の景観整備や総合案内板の設置などを行う。
- 平和や芸術が感じられるよう、平和をテーマとした芸術作品の設置や芸術祭の開催などを行う。

<利活用の主なアイデア>

- ・ 鎮魂や平和学習、平和を発信する場の提供
- ・ 平和を感じ学ぶイベントの開催
- ・ 芸術鑑賞や芸術を発信する場の提供
- ・ 芸術イベント(芸術祭、芸術展、野外コンサート、野外ライブ、ジャズフェス、音楽フェス)の開催
- ・ 音楽等の発表会や芸術教室の開催

<利活用のための整備の主なアイデア>

- ・ 慰霊碑等の周辺の景観整備
- ・ 慰霊碑等の総合案内板の設置
- ・ 石燈籠を活用した光の道の整備
- ・ 芸術広場の整備(展示ブースの設置)
- ・ 平和をテーマとした芸術作品の設置
- ・ イサム・ノグチ氏のPRブースの設置

憩い

② 休憩広場や遊具広場、交流広場など、休憩や子供の遊び場、多様な人々の交流などの拠点となる広場を複数整備し、居心地の良いくつろぎの場を提供する通りとする

- 休憩広場や遊具広場、交流広場は、明るい樹林の中で、休憩の場や子供の遊び場を提供するものとし、テーブルやイス、遊具等を設置する。
- 広場の魅力や価値を高める効果が期待できる交流広場には、カフェ等の店舗を併設する。

<利活用の主なアイデア>

- ・ 休憩や憩い、交流、くつろぎ、読書、飲食、屋外ワーク、子供の遊び場の提供

<利活用のための整備の主なアイデア>

- ・ 休憩広場や遊具広場、水辺が眺められる視点場の整備
- ・ カフェ等の店舗、コンテナ、キッチンカーの設置
- ・ 屋根・テーブル・イス・ベンチ・ソファ・東屋・遊具の設置
- ・ フラワーエリアや花壇の整備、バラ園の拡充
- ・ 樹木の保全

にぎわい

③ 多様なイベントが開催されるなど、持続的ににぎわいを創出するための交流広場を複数整備し、にぎわいのある通りとする

- 交流広場は、芝生広場や舗装広場、ウッドデッキ広場など、バリエーション豊かなものとし、イベント用のインフラ設備も備えたものとする。

<利活用の主なアイデア>

- ・ にぎわい、交流の場の提供
- ・ イベント(ヨガ、ダンス、エアリアルダンス、ポールスポーツ、朝の体操、サップ、朝市、マルシェ、かき祭り、酒祭り、ビアガーデン、クリスマスマーケット、ドリミネーション(通年))の開催
- ・ ピクニック、デイキャンプ、バーベキュー

<利活用のための整備の主なアイデア>

- ・ 交流広場の整備
- ・ イベント用電源・給排水設備の整備
- ・ 屋根・ステージ

おもてなし

④ 暗がりの解消や見通しの確保を行うなど、明るく安全・安心な通りするとともに、観光客等にまた訪れたいと感じてもらえるような、おもてなしあふれる通りとする

- 明るく見通しの良い通りとするため、高木のせん定や視界を遮る中低木類の移植等を行う。
- おもてなし機能の向上を図るため、トイレを設置し、案内サインを充実する。また、夜間も安心して散策できるよう、照明設備を充実する。

<利活用の主なアイデア>

- ・ 夜間の散策やジョギング
- ・ クリーンキャンペーン

<利活用のための整備の主なアイデア>

- ・ 高木のせん定、中低木類の移植等
- ・ トイレの設置
- ・ 授乳・おむつ替え・休憩スペースの整備(カフェ等の店舗に併設)
- ・ 案内サインの充実
- ・ 照明設備の充実

回遊性

⑤ 緑豊かな空間の中で、通り全体での散策が楽しめる通りとする

- 慰霊碑や記念碑等を多くの人々に訪れてもらい、知ってもらえるよう、それらをつなぎながら、通り全体をつなぐ園路を整備する。園路は、バリアフリーやユニバーサルデザインに配慮し、誰もが安心して快適に散策できるものとする。
- 散策のアクセントとして、通りの各所に交流や休憩などの拠点となる広場を設けるとともに、園路に沿って、花壇やベンチ等を設置する。
- 通り全体を緑豊かな空間として維持するため、既存の樹木を保全する。

⑥ 市民や観光客等が、徒歩や自転車等により、平和大通りから他の地域資源を巡ることができるよう、都心回遊の拠点となる通りとする

- 快適な回遊を促す環境づくりとして、サイクルポートの整備や案内サインの充実などを行う。

<利活用の主なアイデア>

- ・ 散策、ウォーキング、ランニング
- ・ 樹木観察会、グリーンウォークラリー
- ・ 比治山公園や平和関連施設への自転車での移動(サイクルコースの設定)
- ・ 交通アクセス情報の充実

<利活用のための整備の主なアイデア>

- ・ 通り全体をつなぐ園路の整備
- ・ バリエーションのある広場の整備
- ・ 園路沿いの花壇の整備やベンチ等の設置
- ・ ぴーすくるのサイクルポートの整備
- ・ 比治山公園や都心部の地域資源への回遊を促す案内サインの設置